

愛知県環境部の平成 30 年度新規事業等について

平成 30 年 2 月
あいち環境づくり推進協議会

あいち地球温暖化防止戦略2030を推進します

予算額 172,144千円

環境部 大気環境課
地球温暖化対策室
温暖化対策グループ・自動車環境グループ
内線 3037・3055
(ダイヤル) 052-954-6242

CO₂排出量を削減し、地球温暖化を防止するため、新たな「あいち地球温暖化防止戦略2030」に基づき、県民・事業者・行政などあらゆる主体による取組を推進します。

1 あいち地球温暖化防止戦略推進費 19,216千円

「あいち地球温暖化防止戦略2030」を推進します。

- ・大規模事業者に対する「地球温暖化対策計画書」を見直し、創意工夫を凝らした自主的・積極的な省エネ取組をより一層促進
- ・中小企業事業者等に対する省エネ相談などの総合的支援
- ・県有施設について、順次、照明をLEDに交換するとともに、市町村へ積極的にLED照明の導入を働きかけ
- ・市町村の地球温暖化対策に係る実行計画の策定を支援

2 温暖化防止県民運動推進事業費 8,428千円

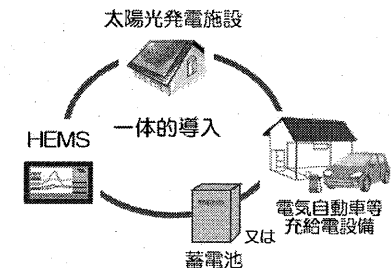
地球温暖化対策についての意識を高め、県民一人ひとりに低炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、普及啓発を実施します。

- ・クールシェア&ウォームシェアの実施
- ・家電製品の省エネ性能等を説明する小売店を、「省エネ家電サポーター店」として認定
- ・市町村開催のイベントへのブース出展
- ・小学生向け出前講座（ストップ温暖化教室）を開催

3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 140,000千円

住宅の「スマートハウス化」を促進するため、設備単体への補助に加え、太陽光発電施設、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）及び蓄電池

等を一体的に導入するメニューを追加し、市町村と協調して補助を実施します。



4 低炭素水素サプライチェーン事業化推進費

4,500千円

再生可能エネルギーを活用して、低炭素水素を製造・利用する「低炭素水素サプライチェーン」の事業化を推進し、県内各地への展開を図ります。

- ・先導プロジェクト支援のための低炭素水素認証制度の運用開始
- ・あいち低炭素水素サプライチェーン推進会議の開催等

次世代自動車の普及に向けて あいち自動車環境戦略2020を推進します

環境部 大気環境課
地球温暖化対策室
自動車環境グループ
内線 3037・3038
(ダイヤル) 052-954-6217

予算額 215,008千円

電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）を始めとする次世代自動車の普及を促進するため、「あいち自動車環境戦略2020」に基づく取組を推進します。

1 戦略推進費

761千円

「あいち自動車環境戦略2020」に基づき、大気環境基準を確保するため、EV、PHV及びFCVを始めとする次世代自動車の普及促進に向けた啓発事業等を進めます。

燃料電池自動車(FCV)



2 次世代自動車普及促進事業費

1,919千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」の参加者と協働して、EV・PHVのさらなる普及に取り組むとともに、「愛知県次世代自動車充電インフラ整備・配置計画」に基づき充電インフラ整備を継続して促進します。

電気自動車(EV)



また、EV、PHV及びFCVを対象とした本県独自の自動車税の課税免除を継続して実施します。

※「あいちEV・PHV普及ネットワーク」とは

EV・PHVの本格的な普及促進に向け、平成21年4月23日に関係実施主体と県が協働して設立した組織。団体数：97団体（平成29年12月末現在）

3 低公害公用車導入費

40,339千円

公用車に次世代自動車等を導入します。

プラグインハイブリッド自動車(PHV)



4 低公害車導入促進費補助金

171,989千円

旅客・貨物運送事業者や中小企業等の事業者に対し、EV、PHV及びFCVを始めとする低公害車を導入する経費の一部を補助します。

「環境首都あいち」を支える人づくりを推進します

予算額 38,316千円

とりまとめ
環境部環境活動推進課
環境学習グループ 内線3027・3028
(ダイヤル)052-954-6208

「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』の実現に向け、多様な主体との連携・協働により各年代に応じた環境学習を実施し、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」を地域全体で推進します。

【未就学児童】

インタープリター自然体感推進事業
8,437千円

環境学習施設での自然体感プログラムの提供や、幼稚園等での自然体験の普及のための研修の実施

- ・ もりの学舎ようちえん
- ・ 一日もりの学舎ようちえん
- ・ 森の伝道師派遣
- ・ 子ども自然体感指導者養成研修

【小中学生】

あいち環境学習プラザ事業
2,736千円

環境学習施設での体験型の環境学習講座等の実施や、学校で環境学習を行うための講座の実施

- ・ 環境学習講座
- ・ もりの学舎キッズクラブ
- ・ 環境教育協働授業づくり講座

【高校生】

高校生環境学習推進事業
6,877千円

高校生が、大学・NPOなどの支援を受けながら環境問題に関するテーマを調査・研究し、その結果を基に地域に向けた啓発コンテンツを作成・普及

- ・ 環境に関する調査、研究
- ・ 研究成果発表会の開催
- ・ コンテンツの作成、普及

【大学生】

持続可能な未来の
あいちの担い手育成事業
10,478千円

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」により、企業・団体と連携して行う、次世代の担い手となる環境リーダーの養成

- ・ 企業・団体での研究活動
- ・ 成果発表会の開催
- ・ 研究所活動の国内発信
- ・ 研究所活動を支援する会議の開催

【社会人】

あいち環境塾実施事業
5,508千円

企業・団体・行政など、各分野で活躍する持続可能な地域づくりの環境リーダーの育成

- ・ 体験講座の開催
- ・ 育成講座の開催
- ・ 成果発表会の開催
- ・ 修了生との連携

【中・高年・シニア】

中・高年・シニア環境学習推進事業
4,280千円(新規)

中・高年・シニア世代を環境学習の講師として養成し、環境学習施設や、イベントなどで講座を実施

- ・ 中・高年・シニア講師の養成講座の実施
- ・ 養成した講師による環境学習講座の実施

県民のエコアクション（環境配慮行動）を促進します

予算額 10,555千円

環境部環境活動推進課
環境学習グループ
内線 3027・3028
(ダイヤル) 052-954-6208

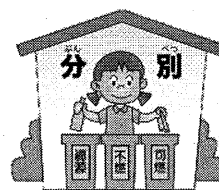
「県民みんなで未来へつなぐ『環境首都あいち』を実現するため、県民参加型の環境イベントの開催や愛知県環境学習施設等連絡協議会（AELネット）のネットワークを活用しながら、県民一人ひとりの省資源・省エネといったエコアクション（環境配慮行動）を促進します。

1 エコアクション推進フェアの開催

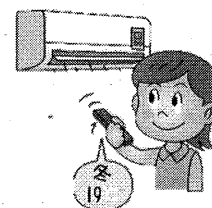
エコアクションの意識を高めるため、NPOや民間企業等の環境活動の成果を発表したり、県民が楽しみながら環境問題について考えることができる参加型のイベントを開催します。

開催時期 平成30年11月

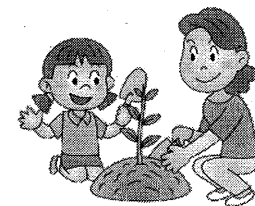
<エコアクションの例>



ごみの分別



エアコンの適切な
温度設定



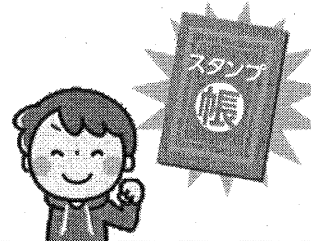
自然を守る活動

2 AELネットを活用したスタンプラリーの実施

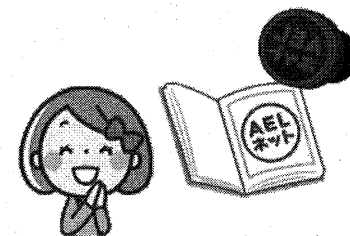
AELネット加盟施設等が連携して環境学習スタンプラリーを実施することにより、様々な環境学習の機会を提供します。

開催時期 平成30年6月～平成31年2月

<スタンプラリー参加方法>



施設等でスタンプ帳ゲット



<AEL（あえる）ネット>

愛知県環境学習施設等連絡協議会（Aichi Environmental Learning Network）の愛称。県内の環境学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために平成20年3月に設置。平成29年12月末現在で173施設等と34市町村が加盟。

ZEBを目指して、環境調査センター・衛生研究所の整備を進めます

予算額 5,828,485千円

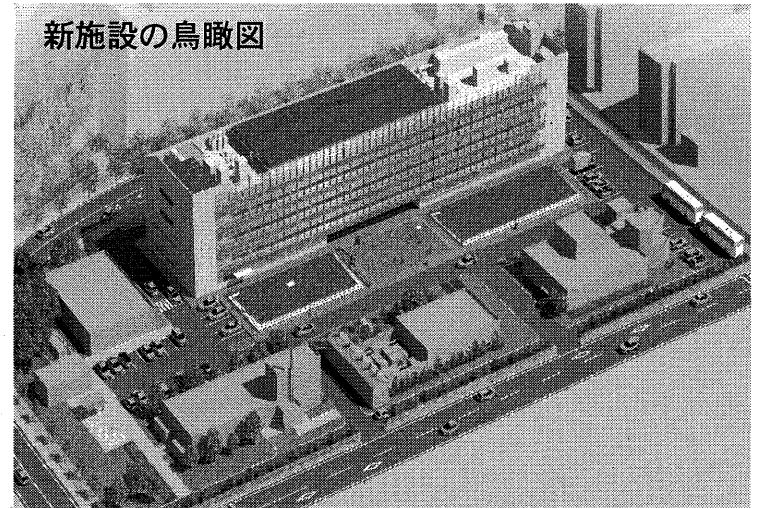
とりまとめ
環境部環境政策課
環境調査センター建設グループ
内線 3011・3585
(ダイヤル)052-954-6624

老朽化等により建替え中の環境調査センター・衛生研究所については、施設の建替えと維持管理を一括して発注するPFI方式により整備を進めます。

1 新施設の特徴

- 本県の環境行政、衛生行政における拠点施設の機能維持・向上
- 環境首都あいちにふさわしい全国モデルとなる新エネ・省エネ施設
最新の環境配慮技術を導入し、「公共施設で全国トップクラスとなるZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）」を目指します。
- 県民に親しみを持ってもらえる施設
環境分析の現場や新エネ・省エネ設備等と県民に開放可能な1階スペースを一体的に活用した環境学習の実施について検討します。

新施設の鳥瞰図



2 整備スケジュール（予定）

平成30年度	新施設の建設工事（31年1月完成）等
平成31年度	新施設での業務開始 現施設の解体工事 外構工事、太陽光パネル設置等
平成32年4月	全面供用開始

新施設の概要

場所：名古屋市北区辻町地内
延床面積：8,147.46㎡（地上4階建て）

導入する主な新エネ・省エネ設備等

【設備】 太陽光発電、太陽熱集熱システム、高効率冷暖房設備、人検知LED照明、ビルエネルギー管理システム（BEMS）等
【建築】 高断熱ガラス、自然換気、地中熱利用、壁面緑化等

「三河湾環境再生プロジェクト」を推進します

予算額 10,523千円

環境部水地盤環境課
三河湾環境再生グループ
内線 3058・3042
(ダイヤル)052-954-6220

県民、NPO、企業、関係団体、教育機関及び行政等が一体となって、「三河湾環境再生プロジェクト」一よみがえれ！生きものの里“三河湾”一として、三河湾の環境再生に向けた各種取組を実施します。

三河湾環境再生の推進 6,859千円

三河湾に関わるNPO、企業、関係団体、教育機関、行政などからなる「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」(平成27年6月設立)と連携・協働し、三河湾大感謝祭など、三河湾の環境について関心を深める事業を実施します。

また、本クラブの趣旨に賛同し応援していただける方をサポーターとして広く募集し、県民の皆様と一体となって、三河湾の環境再生を推進します。

【主な事業】

- ・三河湾大感謝祭
時期：秋頃(1回)、場所：三河湾沿岸地域
内容：上流域の取組・活動発表、海の幸の試食等
- ・三河湾環境学習会
時期：夏頃(2回)、場所：三河湾内
内容：「愛知丸」船上での環境測定体験等
- ・集客施設等における三河湾のPR活動
時期：春～秋頃(4回)
内容：生きものの展示、三河湾の状況や県の取組の紹介等

三河湾環境再生体験会等の開催 664千円

干潟の生きものや水質浄化機能等の観察に加え、砂の流出防止のための木杭打ちなどの干潟の保全体験を盛り込んだ、三河湾環境再生体験会等を開催します。

時期：夏頃(1回)
場所：三河湾沿岸地域
内容：生きものの観察や干潟の保全体験等



市町村・NPO等の活動支援 3,000千円

三河湾の沿岸や流域における水質浄化の取組を推進するため、市町村、NPO等の環境活動を支援します。

支援団体：3団体以上
時期：春から秋頃
場所：三河湾沿岸

活動例

- ・干潟での生きものの観察会
- ・体験活動
- ・海岸清掃 など

